

主要事業の実施報告 (2018年2月-2018年5月) 及び今後の主要事業

2018年 5月19日



公益社団法人

日本ユネスコ協会連盟

民間ユネスコ運動の 普及・実践

第74回日本ユネスコ運動全国大会in函館

日 時：2018年7月7日（土）～8日（日）

大会テーマ：広げよう平和・共生の心
～北の大地から次世代へ～

参加申し込み延長しました

2018年5月31日（木）締切

（機関誌2018年1月号に募集要項封入）

北の大地“函館”に是非お越しください！

申込人数：約470名（5月11日現在）

第74回 日本ユネスコ運動
全国大会 in 函館

広げよう平和・共生の心 ～北の大地から次世代へ～

2018年 7月7日（土）8日（日）

●函館市芸術ホール／函館市五稜郡町37-8
●ホテル函館ロイヤル／函館市大森町16-9

主催：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟・北海道ユネスコ連絡協議会・函館ユネスコ協会

後援（特選中）：外務省・文部科学省・日本ユネスコ国内委員会・国際連合広報センター・ESD活動促進センター・北海道・北海道教育委員会・北海道協会・公益社 北海道アムネスティ協会・函館市教育委員会・函館市議会・北上市・北上市教育委員会・北上市議会・道庁・アムネスティ連盟・北海道新聞・函館新聞・朝日新聞函館支局・読売新聞函館支局・毎日新聞函館支局・NHK函館放送局・HBC函館放送局・STV函館放送局・UHF市放送局・TVh函館支社・FMほのぼの・N-TV函館センター・函館工業専門学校・函館市立函館第一中学校・函館市立函館第二中学校・函館市立函館第三中学校・函館市立函館第四中学校・函館市立函館第五中学校・函館市立函館第六中学校・函館市立函館第七中学校・函館市立函館第八中学校・函館市立函館第九中学校・函館市立函館第十中学校・函館市立函館第十一中学校・函館市立函館第十二中学校・函館市立函館第十三中学校・函館市立函館第十四中学校・函館市立函館第十五中学校・函館市立函館第十六中学校・函館市立函館第十七中学校・函館市立函館第十八中学校・函館市立函館第十九中学校・函館市立函館第二十中学校・函館市立函館第二十一中学校・函館市立函館第二十二中学校・函館市立函館第二十三中学校・函館市立函館第二十四中学校・函館市立函館第二十五中学校・函館市立函館第二十六中学校・函館市立函館第二十七中学校・函館市立函館第二十八中学校・函館市立函館第二十九中学校・函館市立函館第三十中学校・函館市立函館第三十一中学校・函館市立函館第三十二中学校・函館市立函館第三十三中学校・函館市立函館第三十四中学校・函館市立函館第三十五中学校・函館市立函館第三十六中学校・函館市立函館第三十七中学校・函館市立函館第三十八中学校・函館市立函館第三十九中学校・函館市立函館第四十中学校・函館市立函館第四十一中学校・函館市立函館第四十二中学校・函館市立函館第四十三中学校・函館市立函館第四十四中学校・函館市立函館第四十五中学校・函館市立函館第四十六中学校・函館市立函館第四十七中学校・函館市立函館第四十八中学校・函館市立函館第四十九中学校・函館市立函館第五十中学校・函館市立函館第五十一中学校・函館市立函館第五十二中学校・函館市立函館第五十三中学校・函館市立函館第五十四中学校・函館市立函館第五十五中学校・函館市立函館第五十六中学校・函館市立函館第五十七中学校・函館市立函館第五十八中学校・函館市立函館第五十九中学校・函館市立函館第六十中学校・函館市立函館第六十一中学校・函館市立函館第六十二中学校・函館市立函館第六十三中学校・函館市立函館第六十四中学校・函館市立函館第六十五中学校・函館市立函館第六十六中学校・函館市立函館第六十七中学校・函館市立函館第六十八中学校・函館市立函館第六十九中学校・函館市立函館第七十中学校・函館市立函館第七十一中学校・函館市立函館第七十二中学校・函館市立函館第七十三中学校・函館市立函館第七十四中学校・函館市立函館第七十五中学校・函館市立函館第七十六中学校・函館市立函館第七十七中学校・函館市立函館第七十八中学校・函館市立函館第七十九中学校・函館市立函館第八十中学校・函館市立函館第八十一中学校・函館市立函館第八十二中学校・函館市立函館第八十三中学校・函館市立函館第八十四中学校・函館市立函館第八十五中学校・函館市立函館第八十六中学校・函館市立函館第八十七中学校・函館市立函館第八十八中学校・函館市立函館第八十九中学校・函館市立函館第九十中学校・函館市立函館第九十一中学校・函館市立函館第九十二中学校・函館市立函館第九十三中学校・函館市立函館第九十四中学校・函館市立函館第九十五中学校・函館市立函館第九十六中学校・函館市立函館第九十七中学校・函館市立函館第九十八中学校・函館市立函館第九十九中学校・函館市立函館第一百中学校

2018年度ブロック別研究会

ブロック	2018年度開催	主管
北海道	10/14 (日)	北海道ユネスコ連絡協議会
東北	10/13 (土) ~10/14 (日)	塩釜ユネスコ協会
関東	9/8 (土) ~9/9 (日)	茨城県ユネスコ連絡協議会
中部東	9/29 (土) ~9/30 (日)	諏訪ユネスコ協会
中部西	11/10 (土) ~11/11 (日)	南砺ユネスコ協会
近畿	10/27 (土) ~10/28 (日)	彦根ユネスコ協会
中国	9/29 (土) ~9/30 (日)	宮島ユネスコ協会
四国	10/27 (土) ~10/28 (日)	大洲ユネスコ協会
九州	11/10 (土) ~11/11 (日)	熊本ユネスコ協会

青少年ユネスコ活動助成

- 5月11日に2017年度の審査会を開催

【審査員】	引地瑠美子	(日本ユネスコ協会連盟副会長)
	鈴木 佑司	(日本ユネスコ協会連盟理事長)
	中野 清史	(日本ユネスコ協会連盟理事)
	小暮 強志	(日本ユネスコ協会連盟評議員)

助成件数：52件

採択件数：40件

(採択・不採択通知は5月21日からの週に送付いたします)

第9期ユネスコスクール ESDアシストプロジェクト助成校決定

- 三菱UFJ銀行、三菱UFJフィナンシャル・グループの協力
- 国内のユネスコスクール加盟校を対象とした助成事業
- 募集期間：2017年11月27日（月）～2018年1月31日（水）
- 審査会（2月26日開催）の結果、112校からの応募に対し、102校への助成が決定。助成決定校はHPに掲載。

【分野別応募状況】

環境学習	国際理解	平和・ 人権	世界遺産・ 地域遺産学 習	防災・ 減災教育	福祉・ 食育等	その他
69	51	43	34	27	14	20

第8回ESD国際交流プログラム

- 三菱UFJ銀行の協力のもと、ユネスコスクール間の交流促進と持続可能な開発のための教育（ESD）の普及を目的に、3月25日(日)～31日(土)ユネスコスクールの高校生12名をインドネシアに派遣（3月24日は東京で事前研修）。
- UNESCOジャカルタ事務所、ジョグジャカルタ近郊のESDプロジェクトサイト、ユネスコスクールなどを訪問。



「ユネスコ協会ESDパスポート」

- 2017年度は31ユ協が参加。
- 2017年11月以降、各地ユ協主催で体験発表会開催。
- 現在、2018年度参加ユネスコ協会を募集中。



2/17大垣ユ協

(講演者として鈴木理事長出席)



2/21成田ユ協

国際協力フェスタ（大阪）出展

「ワン・ワールド・フェスティバル」

2/3～2/4 SDGs（持続可能な開発目標）をテーマ

- 昨年同様、西日本の青年会員が企画運営をし、ワークショップとブース出展。ブースには200人以上が訪問。
- ワークショップでは、カンボジアスタディツアー（かめのり財団協力）参加高校生も報告を行った。



高校生カンボジアスタディツアー

共催：公益財団法人かめのり財団

■第5回

2018年8月4日（土）～11日（土）

訪問先：プノンペン、シエムリアップ

現 状：5/7に募集を締め切り、
応募者を選考中。

■第4回報告書完成（右）

高校生の帰国後活動を含めた
報告書を3月に発行。

2017年度
第4回高校生カンボジアスタディツアー
報告書

2017(平成 29)年 8月 5日～8月 12日



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

本事業は、公益財団法人かめのり財団との共催により実施しました。

カンボジア寺子屋運動 モニタリング・ツアー

- 日 時：2018年3月18日（日）～22日（木）
- 訪問先：カンボジアシエムリアップ
- 目 的：世界寺子屋運動実施状況のフィードバック手法のアイデアを提供していただき、取りまとめ後、今後の寺子屋運動広報活動に生かす。
- モニタリング対象：寺子屋運動支援先・世界遺産支援先
- 参加協会：（書きそんじハガキキャンペーン協力ユネスコ協会の上位協会独自ツアー実施予定のない協会）札幌・富山・大分・熊本・鹿児島各協会

寺子屋リーフレット制作プロジェクト

◆2017年度「リーフレットコンテスト」受賞作品決定（3月）

最優秀賞

『日本ユネスコ協会連盟賞』

東京都立三田高等学校

Y・Yさん



◆2016年度受賞作品は、
連盟ホームページ

「ユ協便2018.2月号」からダウンロード可能。

第13回 (2017-18)

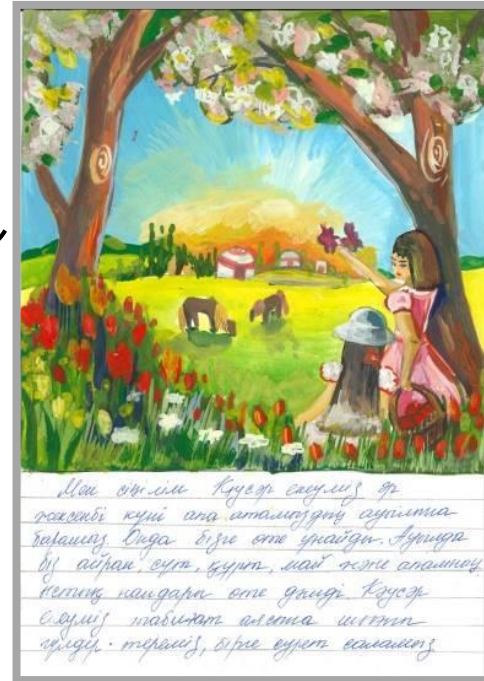
三菱アジア子ども絵日記フェスタ

各国グランプリ作品が決定

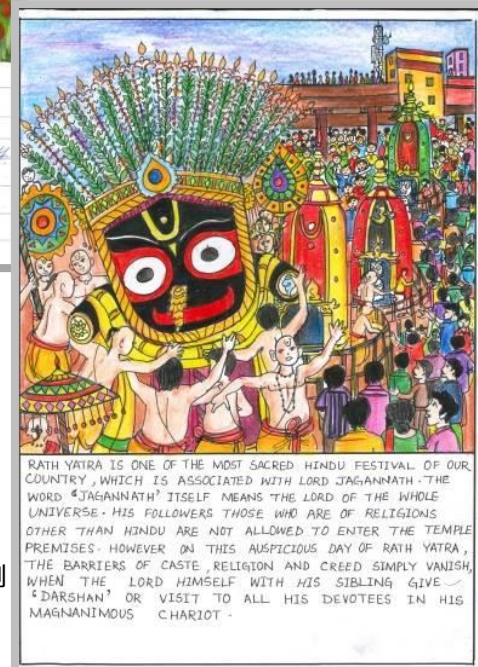
- 4月3日に東京で国際選考会を開催。24の国と1地域の代表8作品から、グランプリ、三菱広報委員会賞、AFUCA賞および日本ユネスコ協会連盟賞が決定した。
- 日本を含めた各国からの応募総数は65,567作品（前回比30%増）。

グランプリ受賞者の来日イベント

- 2018年7月24～28日、各国グランプリ受賞者を日本に招待し、国際表彰式やレセプション、横浜の小学校との交流活動や、東京ディズニーランドへのエクスカージョンを実施予定。



グランプリ作品例
カザフスタン



グランプリ作品例
インド

東日本大震災 子ども支援募金

ユネスコ協会 就学支援 奨学金

被災によって経済状況が悪化した家庭の中学3年生を対象に、高校進学(就学)のための給付型奨学金を、一人あたり3年間にわたり支援する事業。(※震災で親を亡くした子どもを除く)

- 2018年2月、2017年度の第4四半期分の奨学金を給付した。
- 2017年度は156名の新規採用の生徒と継続給付者と合わせて、計593名の生徒を支援した。

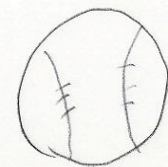
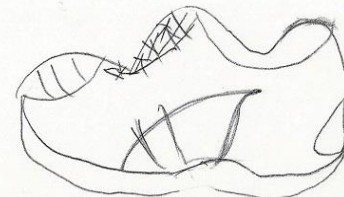
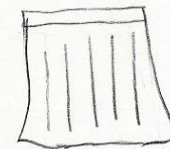


引き続き、募金のご協力をお願いします

私の将来の夢は 中学校の先生 になること、また地元に戻り、働くことです。ですからこの合格が夢への第一歩としていきます。そして、奨学金を大切に利用して、勉強をしたり充実した高校生活になるように励んでいきます。

奨学金を募金してくれる方々、私たちのような被災者に「将来への希望」もこの奨学金を通していただいていると感じています。本当にありがとうございます。

必ず役立つもの



(奨学生からのお手紙)

広告掲載：『文藝春秋』 4月号

3月9日に発売された雑誌『文藝春秋』4月号に、ユネスコ協会就学支援奨学金の広告を掲載した。



東日本大震災
子ども支援募金
ユネスコ協会就学支援奨学金



● 2011年から支援を継続しています
● 奨学金は直接子どもたち(ご家庭)に届けています
● ご寄付は寄付金控除の対象になります

東日本大震災で経済状況が悪化した家庭の子どもたちの就学を支援するための奨学金です。
高校進学を希望する中学3年生に対し、返還不要の奨学金を直接給付しています。
子どもたちが夢や進学をあきらめることなく安心して学べるよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

募金口座
三菱東京UFJ銀行 神田支店 普通 0297275
シャ)ニホンユネスコキョウカイレンメイ
領収書が必要な方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
インターネットからの募金や、毎月の継続的な定額募金「月1いいことプログラム」もごさいます。

資料請求・お問い合わせ先
電話：03-5424-1121
日本ユネスコ協会連盟 就学支援係
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-3-1
朝日生命恵比寿ビル12階
メール：nfujaj@unesco.or.jp **ユネスコ 奨学金 検索**

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
私たちはUNESCO憲章の理念に則り、平和を明日に築くために1948年から活動している民間組織です。
皆さまからいただいたご寄付は支援活動に直接活かされています。

あの日から7年。
奨学金とたくさんの方の応援が、
夢に向かう力になりました。

アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

大震災の教訓を全国の学校の減災教育に活かすプログラム

・2018年2月、参加校22校の教員を招聘し、活動報告会を開催した。減災教育の実践発表をはじめ、ワークショップや文科省の防災教育係長による講演等が行われた。

アクサ ユネスコ協会
減災教育プログラム

2018年4月～5月25日まで、2018年度（第5回）の参加校を全国公募中

【協力】アクサ生命保険株式会社

【コーディネーター】及川幸彦理事

【研修協力】特活)SEEDS Asia、
気仙沼市教育委員会
階上小学校、階上中学校

【後援】文部科学省



MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金

三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）と協働し、震災によって親を亡くした小学校から高校までの児童・生徒を対象に奨学金を給付。

1. 奨学金（遺児・孤児対象）：

2018年2月、継続受給者に2017年度の第四半期分の奨学金を送金した。

2018年3月、104名が高校（通信制、定時制、高等専門学校含む）を卒業、奨学金の受給を終えた。

2. 2018年度奨学生決定：

2018年度奨学生は562名。



熊本地震 子ども支援募金

くまもと復興無料塾プロジェクト

- 中学校「入学前準備講座」を3月末に実施



益城町立益城中学校と熊本市立東野中学校に進学予定の、それぞれ町内3校・市内2校の小学校6年生97人が対象。

コミュニケーション力養成ワークショップ、英語と数学の学習（先取りコース、復習コース）、ヨガやバスケットなどを、熊本大生、熊本県立大生、熊本学園大生のサポートで行われた。

世界寺子屋運動
世界遺産・未来遺産
ほか

書きそんじハガキ・キャンペーン 2018

- 過去最多の162コ協が参加！
ユネスコスクールも46校参加
- WEB上に特設ページ開設中
- (株)電通のご協力
産経新聞、週刊ダイヤモンド、サライ、
AERA、ananなど多数の媒体で広報展
開。
- ユネスコ協会から多くのハガキ（未
使用切手）が届いています。

ご協力ありがとうございます！



書きそんじローで
世界を救おーっ！

11枚の書きそんじハガキで、ひとりがひと月学校に。
ユネスコ世界寺子屋運動

未使用の切手や
プリペイドカードも受付中！

ユネスコ協会

世界寺子屋運動 アフガニスタン寺子屋プロジェクト

カブール事務所が識字賞受賞

- UNESCOとアフガニスタンの教育省が主催する「ガニ大統領夫人の青年・成人識字コンテスト2018」において全34団体中で第2位を獲得（写真㊤）。2002年からのアフガニスタンでの寺子屋活動が評価。（第1位は、国防省の兵士向け識字プログラム）



識字クラス・職業訓練の実施

- カブールとバーミヤンを中心に、カブール郊外の国内避難民キャンプを含めて23クラスで657人が学習（写真㊦）。
- 職業訓練クラス（裁縫、刺繍、革製品づくりなど）も14クラスで382人が学んだ。



世界寺子屋運動 アンコール寺子屋プロジェクト

●スラエン・スピアン寺子屋開所式

2018年3月29日（木）、州内12郡で最後となるスレイ・スナム郡にて開所式を実施。

今後は州政府と協議し、コミューン（郡の下の行政単位）レベルの寺子屋支援や既存寺子屋の委譲について検討する。

●教育プログラム・収入向上活動

識字クラス（493名）、幼稚園クラス（239名）、復学支援クラス（216名）、進学支援（162名）が参加した。

また、「米の貸付」「マイクロクレジット」に計290家庭が参加。成人の収入安定・スキルアップとともに、子どもの通学継続（ドロップアウト防止）に寄与した。



世界寺子屋運動 ネパール寺子屋プロジェクト

●寺子屋の開所式典の実施

2015年のネパール中部（ゴルカ）震源地であるゴルカ郡にドウワンコット寺子屋（CLC）が完成し、開所式典が2018年3月に実施された（写真①）。150人以上が参加した。

ネパール東部のラメチャップ郡でも地震で被災したビムシュワール寺子屋の開所式典が行われた（写真②）。市長をはじめ約100人が参加。

●識字/小学校クラスの実施

ネパール南部のルンビニを中心に、4カ月の識字後クラス（中級レベル）および小学校クラスを継続展開している。それぞれ、1,994人と371人が寺子屋や民家で学んでいる。



世界寺子屋運動 ミャンマー寺子屋プロジェクト

● 中途退学者継続教育プログラム

バゴー地方域の29村で、小・中学校を中途退学し、主に米・豆の大規模農場などで働く10～17歳の青少年480人（女子287人）が9か月の学習を終了した。

非識字者は85人（全体の18%）いたが、9か月のコース終了後は読み書きを身につけた。

● 学習内容

読解力向上（識字含む）、算数、保健衛生、生活スキル

● 場 所

小学校（15）、僧院（7）、民家（4）、教育事務所等（3）

（2017～19年度は建物支援の予定なし）



一杯のスプーン アフガニスタン・ネパール

アフガニスタン

- カブール市内のSAHA診療所を支援。来院した子どもへの栄養補助食品の配布、診療、薬の無料配布を継続している（写真⑤）。

ネパール

- 国際仏教協会を支援。ルンビニの12地域で、栄養失調の子どもに、4カ月分の栄養補助食品を配布。（写真⑥）。

一杯のスプーンの今後

- アフガニスタンでは、国内避難民への支援に、ネパールでは寺子屋を通じた地域の人びとの健康プログラムに移行していく予定。

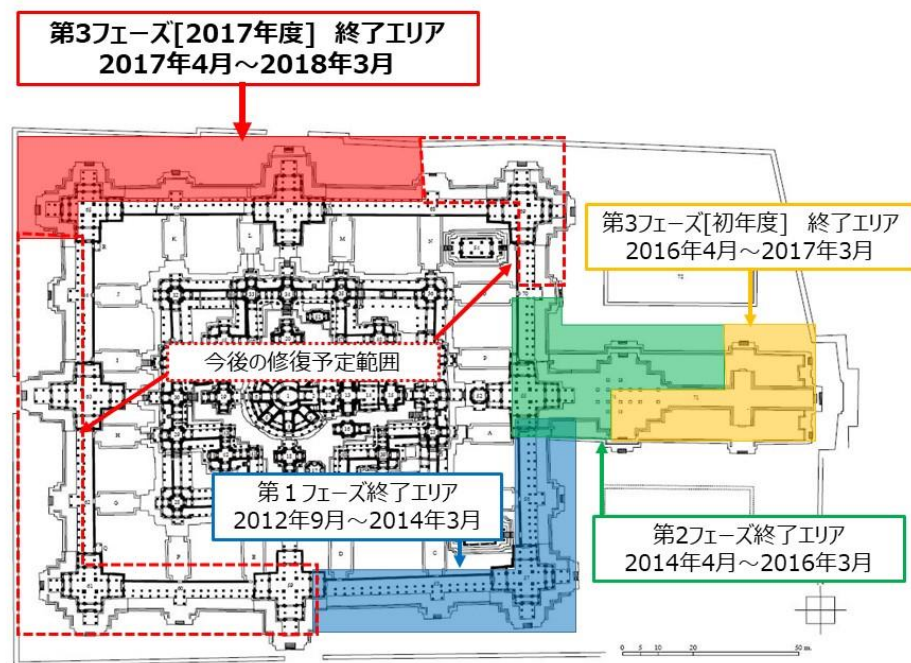


世界遺産活動 カンボジア

バイヨン寺院彫像修復プロジェクト

アンコール遺跡の一つ、バイヨン寺院における彫像修復・人材育成事業を引き続き実施。

2018年3月に第3フェーズが終了し、2018年4月から第4フェーズを開始した。



第3フェーズでは、ナーガ彫像18体、シンハ彫像2体、その他の欄干部材170部材（架木49部材、斗束61部材、地覆60部材）の修復が完了した。

修復チームの成長により、予定よりも早く作業工程を進めることができました。

「世界遺産年報2018」の発行



好評発売中！

特集：

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

発売日：2018年1月31日

発売元：講談社 / 1000円（税別）

2017年度は、22年間続いた宝くじ協会の助成がなくなったため、寄贈はやむなく中止。全て市販となりますのでご了承ください。

世界遺産活動 ミャンマー

●バガン遺跡の保存支援プロジェクト

ミャンマー政府とUNESCOが2015年7月から、バガン遺跡の世界遺産登録を目指したプロジェクトへ、当連盟も協力してきた。2018年2月、ミャンマー政府からUNESCO世界遺産センターへ、「推薦書」が提出された。



●贈呈式と国際フォーラム（2018年3月9日）

上記プロジェクト終了式が開催され、ミャンマー中央政府の文化大臣をはじめ、国際専門家等が出席した。文化大臣から、当連盟の支援に対し、謝意が表明された。野口副会長から、機材を贈呈するとともに、スピーチを行い、登録申請完了への祝意を述べ、当連盟の支援の経緯や主要活動の説明を行った。



未来遺産運動

●「プロジェクト未来遺産2017」登録証伝達式

2018年3月11日（日）、富山県南砺市
「福野夜高祭～『災厄からの復興を引き
継ぐプロジェクト』」 牧貞夫理事が出席。

2018年3月23日（金）、香川県高松市
「未来へつなぐ子どもたちの健康と健や
かな成長を～田井の子供神相撲～」



●「プロジェクト未来遺産2018」 募集開始

2018年4月27（金）から、募集開始。
応募締め切りは、7月20日（金）必着。



普及広報関連

日ユ協連ウェブサイト

各事業の最新情報や
記事を順次更新中。

The screenshot shows the homepage of the Japanese UNESCO Association website. At the top, there is a navigation bar with the text "支援のお願い" (Request for Support) and "日本ユネスコ協会連盟について" (About the Japanese UNESCO Association). Below this, there are three main images: a young woman in a school uniform, a young woman in a school uniform, and a young man in a school uniform writing on a chalkboard. A text overlay reads: "あの日から7年。奨学金とたくさんの応援が、夢に向かう力になりました。" (From that day, 7 years. Scholarships and many supports have become the power to pursue dreams). Below this, there are three more images: a group of three people, a young woman in a school uniform, and a young woman in a school uniform. A text overlay reads: "東日本大震災子ども支援募金 ユネスコ協会就学支援奨学金" (Great East Japan Earthquake Children's Support Fund UNESCO Association Study Support Scholarship). A blue button with the text "詳しくはこちら" (More details here) is located to the right. At the bottom, there are three main sections: "世界寺子屋運動 発展途上国の教育支援" (World Temple School Movement Support for Education in Developing Countries), "世界遺産活動 世界遺産を守る" (World Heritage Activities Protecting World Heritage), and "未来遺産運動 日本の文化・自然を守る" (Future Heritage Movement Protecting Japan's Culture and Nature). A fourth section on the right features a photo of a young woman and the text "東日本大震災子ども支援募金活動報告 特設ページはこちら" (Report on the Great East Japan Earthquake Children's Support Fund Activities Special Page is here).

公式フェイスブック

活動の様子や現地の情報、トピックスなどをいち早くお届けしています。ぜひ「いいね!」をクリックしていただき、多くの方々の情報共有をお願いします。

<http://www.facebook.com/unesco.or.jp>



[登録数]
3,418人
(4月25日現在)

機関誌「ユネスコ」 1月,4月号の発行



カラー誌面での発行を
継続。

2018年は10周年
を迎えた未来遺産運動
にフォーカス。

ユネスコ情報マガジン（メール配信）

第237-240号 発行

=====

□■□ ユネスコ情報マガジン □■□

《2018年4月6日 通巻第240号》

=====

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

National Federation of UNESCO Associations in Japan

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に
平和のとりでを築かなければならない — UNESCO 憲章前文より」

目次

■TOPICS■

- 日本ユネスコ協会連盟がアフガニスタンで識字賞受賞
- ユネスコスクール高校生がインドネシアを訪問
- 明日公開！映画「father～カンボジアへ幸せを届けた神父の物語」

■情報カレンダー■

- ESD教材「守ろう地球のたからもの～豊かな自然編」寄贈のお知らせ

■TOPICS■

日本ユネスコ協会連盟がアフガニスタンで識字賞受賞

アフガニスタンで世界寺子屋運動を展開する日本ユネスコ協会連盟が「ガニ大統領夫人の青年・成人識字コンテスト 2018(Bibi Gul Youth and Literacy Contest for Afghanistan 2018)」において第2位を獲得し、ヤマ現地所長が式典にてトロフィーと賞金パネルを受け取りました。

この賞はアフガニスタン教育省、ファーストレディーオフィス(大統領夫人室)、およびUNESCOカブール事務所が「社会変革と持続可能な開発のための

・ 月1回発行
(臨時号を除く)

・ [読者数]
5,094件
(4月25日現在)

「遺贈」 広報の継続

- 日経MOOK 『相続・事業継承プロフェッショナル名鑑』に寄付を呼びかける純広告掲載。
- 文藝春秋5月号（遺贈特集）に同広告とタイアップ記事を掲載。

公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

きょういくで、あしたへいく。



公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟への遺贈・相続寄付

世界には紛争や貧困、自然災害によって、学ぶ機会を奪われている子どもたちがたくさんいます。

子どもは未来を担う希望であり、教育は未来をつくる力です。

日本ユネスコ協会連盟は、あなたのご遺志を子どもたちと世界の未来につなぎます。

日本ユネスコ協会連盟への遺産の寄付、および相続財産の寄付には相続税が課税されません。

お問い合わせ・パンフレットをご希望の方は、日本ユネスコ協会連盟 遺贈担当 / 岩本、小澤

電話 03-5424-1121 Eメール izou@unesco.or.jp

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階 詳しくは www.unesco.or.jp/izou

ユネスコ 遺贈



今後の主な主催事業日程

2018年

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 6月16日(土) | 第523回理事会、第69回定時総会 |
| 7月7日-8日(土-日) | 第74回日本ユネスコ運動全国大会in函館 |
| 7月24~28日 | 三菱アジア子ども絵日記フェスタ 国際表彰式 |
| 8月4日~11日 | 高校生カンボジアスタディツアー |
| 9月1日(土) | 第524回理事会 |
| 9月17日-19日 | アクサユネスコ協会 減災教育プログラム教員研修会 |
| 11月17日(土) | 第525回理事会、第46回評議員会 |

2019年

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1月19日(土) | 第526回理事会、第47回評議員会、新年懇親会 |
| 2月22日-23日 | アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム活動報告会 |
| 3月9日(土) | 第527回理事会 |